

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月 8日 更新

事務事業名		地下水採取量報告事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	総務部
	施策	10 水環境の保全				所属課	環境衛生課
	基本事業	28 地下水のかん養				所属班	環境衛生班
課長名						担当若名	財津 公正
担当者名						(内線)	石原 勝史
成果優先度評価結果							1144
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10205	法令根拠	熊本県地下水保全条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			
コスト削減優先度評価結果	⑤						
	⑨						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	県が地下水保全対策のため採取量の把握を行なうことに対して、報告書を取りまとめ県(菊池保健所)へ報告する。県の事業であり、委託を受けて行なっている。対象者及び井戸数は減少傾向にある。井戸所有者の協力が難しい。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	井戸所有者(使用者)へ報告書の送付、報告書の再送付(未提出者)、事情聴取、報告書を取りまとめ県(菊池保健所)へ報告
【主な予算費目】	役務費(切手代)
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
井戸所有者(使用者)へ報告書を送付し、報告書の取りまとめ、事情聴取等実施し県(菊池保健所)へ報告した。報告書提出件数(提出率)217件(93%)	平成24年度に同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:報告件数	件
→イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
地下水採取者	(単位)
	→ア:総井戸数
	→イ:本
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
地下水の採取量を把握する	(単位)
	→ア:報告書の提出数/報告書の送付数
	→イ:%
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
成果指標設定の理由:提出率の割合が多いほど採取量報告が適正にされた事になるため。	
目標値設定根拠:現時点での届出総数	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度予定	27年度見込	28年度見込	
① 活動指標	ア	件	211	203	230	217	233	230	230	230	
	イ										
② 対象指標	ア	本	234	230	233	233	230	230	230	230	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	90	88	96	93	96	96	96	96	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	40	32	40	40	40	40	40	40
		(A)のうち指定経費	千円	40	32	40	40	40	40	40	40
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	3	4	6	4	4	4	4
(B)人件費計	延べ業務時間	時間	250	135	200	208	200	200	200	200	
	(B)人件費計	千円	1,030	545	807	846	807	807	807	807	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,070	577	847	886	847	847	847	847	

事務事業名	地下水採取量報告事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 報告書の提出がなかった。引き続き報告書提出のお願いをして行く。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 報告書の提出がなかった。引き続き報告書提出のお願いをして行く。
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 平成24年度に県の指導による個別訪問等の実施により、目標達成の見込みはある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 地下水採取者に十分納得してもらい、報告書の提出をしてもらう。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 郵送料のみであり削減はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 正職員以外の職員でも可能。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 地下水を採取している方に報告書を提出していただくことで、熊本地域の地下水の状況ができ、対策を講ずること可能になるため公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 熊本県地下水保全条例に基づく事務のため役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度は、井戸所有者(使用者)へ報告書を送付し、報告書の取りまとめ、事情聴取等実施し県(菊池保健所)へ報告した。また、不明な井戸の調査等の実施、県の指導による個別訪問等により、報告書提出件数217件、提出率93%の成果を上げることができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						